

早稲田大学系属 早稲田実業学校 中等部

所在地／〒185-8505 国分寺市本町1-2-1
TEL／042-300-2121

校長／恩藏直人

創立／1901年、大隈重信によって早稲田実業中学として創立。1963年、現校名に改称。2001年、現在地に校舎を移転。

URL／www.wasedajg.ed.jp

| | 1年 | 2年 | 3年 |
|------|------|------|------|
| 男子 | 138名 | 142名 | 153名 |
| 女子 | 78名 | 81名 | 85名 |
| クラス数 | 6組 | 6組 | 6組 |

中高総生徒数／1759名 併設小から 約49%



〈交通アクセス〉
JR中央線、西武国分寺線「国分寺」駅より徒歩7分

男女共学化した国分寺キャンパスで「早実第二世紀」を歩む

1901年、早稲田大学の創立者・大隈重信の教育理念を実現し、早稲田の学風に基づいた中等教育をめざして創立されました。校是に「去華就実」、校訓に「三敬主義」を掲げています。1963年に早稲田大学の系属校となり、「質実剛健」「文武両道」の校風を培ってきた男子校は2001年、国分寺キャンパスに移転。翌2002年度より中等部・高等部とも男女共学に移行するとともに、初等部を開校。良き伝統を受け継ぎつつ「早実第二世紀」の道を歩んでいます。なお、卒業生のほとんどが早稲田大学に進学します。

スクールライフ

●教育内容

各教科ともバランス良く、知的好奇心と創造性を育む授業を実施するとともに、体験的総合教育を目的とした長期休暇中の校外教室や、多教科でのICT機器を使用した教育を行うなど、現代社会対応型の教育が充実しています。基礎学力養成に重点が置かれ、主要5教科に多くの時間が充てられています。英語は外国人講師による授業が中2・3で週1時間あるほか、基礎的なコミュニケーション英語能力を評価する試験を全員が受検。数学は中3で高校の内容に入ります。中1の国語には書写に関する授業が週1時間あります。「総合的な学習の時間」は、中1では国分寺巡検とボラン

■主要5教科の週当たり時間(コマ)数

| | 英語 | 数学 | 国語 | 理科 | 社会 |
|----|----|----|----|----|----|
| 1年 | 5 | 5 | 4 | 3 | 4 |
| 2年 | 5 | 5 | 4 | 4 | 4 |
| 3年 | 5 | 5 | 5 | 4 | 4 |
| 合計 | 15 | 15 | 13 | 11 | 12 |

◎1日当たりの授業コマ数：50分×6時限

※水・土曜日は4時限

◎登校時間：8時25分

マネーガイド

■2023年度納付金(諸経費を含む)

| | 入学金 | 授業料 | 施設費 | その他 | 計 |
|-------|----------|----------|----------|---------|------------|
| 入学手続時 | 300,000円 | 0円 | 126,000円 | 0円 | 426,000円 |
| 初年度総額 | 300,000円 | 612,000円 | 252,000円 | 59,600円 | 1,223,600円 |

※期日までに入学辞退を申し出た場合、施設費を返金

ティア、中2では「るるぶ」の制作、中3では「卒業研究」を行います。成績不振者を対象に、英語・数学・国語の補習が放課後や夏休みに実施されます。

●部活動

約50の部・同好会があり、参加率は中高とも約9割です。部活動中に発生する選手のけがなどに適正に対処できるよう、米国公認の資格を有するアスレチックトレーナーが配置されています。

○文化系／英語、演劇、音楽、科学、考古学、写真、珠算、商業経済、書道、吹奏楽、美術、文芸など

○体育系／アイススケート、空手道、弓道、剣道、硬式テニス、ゴルフ、サッカー、山岳、中学野球、少林寺拳法、柔道、水泳、スキー、ソフトボール、卓球、軟式テニス、ハンドボール、バドミントン、バレーボール、米式蹴球、ボート、ラグビー、陸上競技など (2023年度現在)

●行事

9月末～10月上旬の体育祭・いなほ祭(文化祭)のほか、中等部完走大会や合唱祭、東京六大学野球の早慶戦応援などもあります。

●修学旅行・研修旅行

中2では、長野県の駒ヶ根校舎を利用した校外教室、中3では奈良を中心とした校外教室を行います。高2で行う校外教室は年により行き先が変わります。

○寄付金：「教育振興資金」1口10万円、3口以上(任意)

○授業料：2期分納

○奨学金・特待生制度：経済的理由により就学困難と判断される者に授業料相当額を給付



学期制 週5・6日制 プール 冷房 審 食堂 私服通学 海外研修

サピックスからの
合格実績(過去3年)

'21
64名

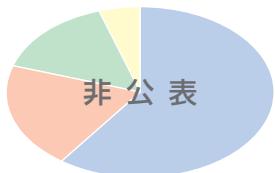
'22
51名

'23
36名

進学指導の概要

早稲田大学への進学を前提としたカリキュラムが組まれ、高入生とは高1より混合クラス編成で、芸術を除いた共通科目を全員が履修します。高2からは希望進路に合わせて文系・理系のコース別クラス編成となり、高3では週に2科目の選択科目があります。高

■2023年3月卒業生の進路の内訳



★他大学への合格状況(2023年度) 東京大2名、京都大1名、日本医科大3名、慶應義塾大3名など

1・2に外国人講師による英語の授業があるほか、多くの教科でICT機器が活用されています。全学年の成績不振者を対象とした主要3教科の補習を放課後や長期休暇中に実施。高3の1月からは特別授業が実施され、早稲田大学の教員による授業も行われます。また、高2・3で大学の正規授業が受講でき、特定の科目を聴講すると、「グローバル工

デュケーションセンター特別聴講学生」に登録されて、在学中に大学の単位として認定される制度もあります。早稲田大学への推薦は、生徒本人の志望する学部・学科と、在学中に修めた成績、人物の評価などを総合的に判断した上で決定されます。2023年3月の卒業生について見ると、394名中375名が早稲田大学に推薦入学しました。

■併設大学(早稲田大学)への推薦状況

| | 政治経済学部 | 法学部 | 文化構想学部 | 文学部 | 教育学部 | 商学部 | 基幹理工学部 | 創造理工学部 | 先進理工学部 | 社会科学院 | 人間科学部 | スポーツ科学部 | 国際教養学部 |
|-----|--------|-----|--------|-----|------|-----|--------|--------|--------|-------|-------|---------|--------|
| 21年 | 70名 | 36名 | 29名 | 23名 | 55名 | 60名 | 20名 | 22名 | 23名 | 51名 | 8名 | 5名 | 10名 |
| 22年 | 65名 | 33名 | 25名 | 20名 | 60名 | 55名 | 23名 | 23名 | 31名 | 50名 | 9名 | 5名 | 10名 |
| 23年 | 65名 | 33名 | 25名 | 20名 | 42名 | 55名 | 29名 | 16名 | 23名 | 50名 | 4名 | 2名 | 11名 |

★指定校推薦枠(2023年度) 非公表

入試情報

■過去3年間の入試結果

| | | 募集人員 | 応募者 | 受験者 | 合格者 | 実質倍率 |
|-----|----|-------|-----|-----|-----|------|
| 21年 | 男子 | 帰国含85 | 361 | 329 | 102 | 3.2 |
| | 女子 | 帰国含40 | 213 | 195 | 50 | 3.9 |
| 22年 | 男子 | 帰国含85 | 337 | 308 | 86 | 3.6 |
| | 女子 | 帰国含40 | 210 | 192 | 49 | 3.9 |
| 23年 | 男子 | 帰国含70 | 320 | 295 | 82 | 3.6 |
| | 女子 | 帰国含40 | 204 | 188 | 48 | 3.9 |

○配点：算国=各100点 理社=各50点

○合格最低点：男子192点 女子202点

23年の募集要項

※以下は2023年の募集要項です。2024年の要項は学校の発表をお待ちください。

入試日／2月1日

募集人員／男女約110名(男子約70名 女子約40名、帰国若干名)

合格発表／2月3日(専用ウェブサイト)

手続締切／2月4日

試験科目／国語(60分・100点)、算数(60分・100点)、理科(30分・50点)、社会(30分・50点)

面接／なし

受験料／30,000円

公開行事・説明会予定

【学校説明会】

10月21日(土)①9時30分～②10時50分～

10月22日(日)①9時30分～②10時50分～

【オープンスクール】

7月15日(土)10時～

【いなほ祭(文化祭)】

10月 7日(土)10時～16時

10月 8日(日)10時～16時

【中等部体育祭】

10月 4日(水) 9時～

◆変更・中止の可能性もあります。必ず学校ホームページで確認してください。

サピックスOB・OGの声

●校はの「去華就実」は、外見にとらわれず、中身を充実させるという意味で、生徒はこれを実践しています。たとえば、制服を正しく着用するのはもちろんのこと、女子は髪が長ければヘアゴムでまとめます。その半面、「あだ名で呼んでいいよ」というようなフレンドリーな先生もいて、窮屈ということはありません。

●食堂には、カレーやうどんなどの定番もののほかに、「イベントメニュー」といって、ご当地もののラーメンや丼物が用意されることもあります。シェフが考案したメニューが出ることもあって、とてもおいしいです。